

## 平成29年度 山城広域振興局 運営目標

番号	運営目標	ページ	数値 目標
<b>1 府民の暮らしを支える安心・安全の確保</b>			
1	豪雨、地震等の災害への適切な対応による被害の最小化	1	○
2	河川・砂防施設等の計画的な整備	3	
3	災害等緊急時の道路交通機能の確保及び道路の防災対策、耐震対策の推進	4	○
4	農地・農業用施設の防災対策や災害に強い山づくりの推進	5	○
5	行政住民連携による地域防災・防犯力の向上	6	○
6	安全な歩行空間の確保	8	
7	公共施設の適正な維持管理の推進	9	○
8	健康危機に強いやましろ地域づくり	10	○
<b>2 地域の活性化と交流を進める交通基盤など社会基盤整備の推進</b>			
9	新名神高速道路供用等に向けた広域交通網等の整備促進	11	○
10	J R奈良線高速化・複線化第二期事業に合わせた道路・河川整備の推進	11	○
11	関西文化学術研究都市のまちづくりや交流・活動を支える基盤整備の推進	12	
12	生活道路等の整備推進	13	
13	多様な主体との連携・協働及び事業PR活動の展開	14	
<b>3 「お茶の京都」づくりの推進</b>			
14	「お茶の京都博」の成功と茶業の振興に向けて、宇治茶の価値・魅力を発信し、宇治茶ファンを広げ、生産や消費を拡大	15	○
15	「京都やましろ茶いくるライン」等の整備	17	
<b>4 やましろ観光の推進</b>			
16	お茶の京都DMOの設立や「お茶の京都博」開催を契機とした新たな観光資源の発掘・魅力向上と新たな観光客層の開拓	18	○
17	ご当地キャラを活用した地域の魅力の発信	19	○
<b>5 中小企業への支援と企業誘致・イノベーション・雇用対策の推進</b>			
18	地域経済を支える中小企業の実情に応じた積極的支援と産学公の連携の推進	20	○
19	東部丘陵地の整備、再開発	22	○

番号	運営目標	ページ	数値目標
<b>6 特色ある農産物づくりと担い手対策の推進</b>			
20	「お茶の京都」を「食」で支えるやましろ農業の活性化	23	○
<b>7 豊かな森と里づくり</b>			
21	モデルフォレストの推進と地域産木材の利用促進	25	○
22	野生鳥獣被害に強い地域づくり	25	○
23	ふるさと保全・地域力・里山再生機能の構築	26	○
<b>8 少子・高齢化への戦略的対応と生涯健康づくり</b>			
24	少子化への戦略的対応	27	○
25	だれもが安心して生活できる環境づくり	28	○
26	高齢者等がいきいきと安心して暮らせる地域づくり	30	○
27	生涯を通じた健康づくりの推進	31	○
<b>9 文化・スポーツや環境の承継・創造</b>			
28	地域文化の振興と文化を担う人づくり、東京オリンピック・パラリンピックに向けた「やましろ文化交流圏」づくりと、スポーツ交流による地域振興	32	○
29	大規模排出事業者への温室効果ガス排出削減指導	32	○
30	住民協働の推進	33	
31	水辺環境の整備、多様なニーズに対する空間の創出	33	○
<b>10 郷土を愛し、世界にはばたく子どもの育成</b>			
32	社会総がかりで子どもを育てる環境づくり、ふるさと意識の醸成と世界にはばたく子どもの育成	34	○
<b>11 乙訓地域の振興</b>			
33	「竹の里・乙訓」かぐや姫観光と「お茶の京都」を結び、乙訓の賑わい創出・発信	35	○
34	乙訓地域における施策の総合調整等	36	○
<b>12 木津川右岸地域(相楽東部地域等)の活性化</b>			
35	相楽東部3町村圏域の生活環境の向上と都市環境と融合した新たなライフスタイルを実現できる地域づくり	37	○

運営目標数	35
うち数値目標	28

平成29年度 山城広域振興局 運営目標

運営目標

1 府民の暮らしを支える安心・安全の確保

1 豪雨、地震等の災害への適切な対応による被害の最小化

達成手段 (数値目標)	①	浸水被害を起こした河川の重点的な改修 ・古川<久御山排水機場から国道24号>(宇治市、城陽市):掘削工事推進、上津屋小橋・境端橋の架替工事の推進[30年度完成目標] ・古川<国道24号から上流区間>(城陽市):用地取得完了、工事推進[31年度完成目標] ・井川<南砂田橋から上流約200m間>(宇治市):新暫定計画に基づく河床掘削工事のためのサイホン工事着手 ・戦川<宇治川合流点から府道京都宇治線>(宇治市):計画区間延長720mの内510m完了済み(合流点から京阪橋梁までの間)、残る210mの区間(京阪橋梁～府道京都宇治線)の用地取得推進、第1出口橋の架替工事に着手 ・赤田川(木津川市):築堤護岸工事推進(赤田川水門・新河道切替完了)[29年度完了目標]
	②	天井川の切り下げ及び水路橋の改築等 ・防賀川(京田辺市):天井川区間の改修工事<29年度完了> ・天津神川(京田辺市):断面拡幅工の関係機関調整 ・馬坂川(京田辺市):天井川区間の切下げ計画案策定に向け、関係機関調整を進める
	③	天井川水路橋の耐震化 ○府道横過部 ・天津神川(京田辺市):対策工事<29年度完了> ○JR奈良線横過部 ・天神川(木津川市):詳細設計実施へ向けJRとの協議調整を進める ・長谷川(城陽市)及び渋川(井手町):水路橋の耐震化に向けたJRとの協議調整を完了し設計に着手
	④	天井川の補強対策の実施 ・天神川(木津川市):堤防強化工事推進 ・不動川(木津川市):堤防強化工事推進 ・鳴子川・新川(木津川市):補強対策計画立案推進(29年度新規)

運営目標

<p>⑤</p>	<p>土砂災害が発生した箇所における土砂流出や流木対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志津川(宇治市):スリット等設置による流木対策の用地取得、工事着手</li> <li>・戦川(宇治市):調査の実施</li> <li>・炭山谷川、養老谷川&lt;炭山地区&gt;(宇治市):用地取得</li> <li>・弥陀次郎川&lt;五ヶ庄地区&gt;(宇治市):工事推進</li> </ul> <p>○急傾斜地崩壊対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西笠取(宇治市):H25被災法面部で急傾斜崩壊対策の用地取得及び工事完了[29年度完了目標]</li> </ul> <p>○地すべり対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・切山地区(笠置町):集水井工事推進</li> </ul>
<p>⑥</p>	<p>市町村と連携した災害危険情報の広報・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民に対する防災啓発のため、防災情報の入手方法を記したチラシ等を配布</li> <li>・防災に関するパネル展等を実施 &lt;パネル展等13箇所(28年度実績13箇所)&gt;</li> </ul>
<p>⑦</p>	<p>排水ポンプ車による実践的な訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出水期前に排水ポンプ車による実践的な訓練を実施すると共に迅速な対応ができる体制の確立</li> </ul>

2 河川・砂防施設等の計画的な整備

達成手段  
(数値目標)

- ① 天井川の補強対策、老朽護岸の更新
  - ・青谷川(城陽市)、長谷川(城陽市)、玉川(井手町): 対策工事推進
  - ・洪川で堤脚護岸補強の設計に着手(29年度新規)
  - ・天神川、不動川(木津川市): 堤防強化工事推進(再掲)
  - ・鳴子川・新川(木津川市): 補強対策計画立案推進(29年度新規)(再掲)
- ② その他河川における老朽化した河川護岸等の危険箇所解消
  - ・小畑川(大山崎町～長岡京市): 老朽化護岸更新工事推進
  - ・小畑川(長岡京市): 河床低下区間の根固め工推進
- ③ 内水被害の実態を踏まえた対策
  - ・堂の川<木幡池>(宇治市): 治水計画策定(宇治川圏域河川整備計画の変更)、樋門改築(国実施)と合わせた北池掘削に係る詳細設計及び環境調査の実施
  - ・平成25年台風18号で内水被害が発生した大谷川(八幡市)、古川(久御山町)及び小川(木津川市): 内水対策案の支援
- ④ 大きな被害を及ぼすおそれのある土砂災害危険箇所の対策
  - 土石流対策
    - ・北川(京都市西京区): 工事着手
    - ・不動谷川(笠置町): 堰堤工事推進[堰堤本体工事29年度完了目標]
    - ・桜峠谷川(木津川市): 用地取得推進
    - ・下庄谷川(宇治市): 堰堤本体工、流路工等の工事推進[29年6月完了目標]
    - ・中ノ谷川(宇治田原町): 町道付け替え工事の推進
  - 急傾斜地崩壊対策
    - ・大野(木津川市): 擁壁工事推進[29年度完了目標]
  - 地すべり対策
    - ・切山地区(笠置町): 集水井工事推進(再掲)

3 災害等緊急時の道路交通機能の確保及び道路の防災対策、耐震対策の推進

達成手段 (数値目標)	<p>緊急時の信頼性が求められる緊急輸送道路の整備</p> <p>○事業推進7箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道163号&lt;有市工区&gt;(笠置町):計画策定</li> <li>・国道307号&lt;奥山田バイパス&gt;(宇治田原町):道路築造工事推進:[30年度完了目標]</li> <li>・国道307号&lt;甘南備台工区(第2工区)&gt;(京田辺市):道路改良工事推進[29年度供用目標]</li> <li>①・国道307号&lt;市辺～奈島&gt;(城陽市):用地取得推進[35年度完了目標]</li> <li>・国道307号&lt;宇治田原山手線&gt;(宇治田原町):測量設計完了[33年度約1km供用目標](29年度新規)</li> <li>・(都)御陵山崎線&lt;第3工区&gt;(長岡京市)用地取得推進</li> <li>・(都)山手幹線&lt;宮津・菱田工区&gt;(京田辺市、精華町):道路築造工事、橋梁工事推進[29年度供用、30年度完成目標]</li> <li>・木津信楽線&lt;加茂町井平尾～和東町下島&gt;(木津川市):道路築造工事推進</li> </ul>
	<p>道路斜面の崩壊防止</p> <p>○第1次緊急輸送道路における法面防災対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道163号(木津川市～南山城村) 28年度点検要対策箇所に着手</li> </ul> <p>○第2次緊急輸送道路における法面防災対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木津信楽線(和東町):3箇所完了(局管内全体13箇所(改良計画等で取り込まれる箇所を除く)のうち、10箇所完了)</li> </ul> <p>○その他の路線における法面防災対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和東井手線(井手町):1箇所完了(全体7箇所完了)、法面調査を実施</li> <li>②・大津南郷宇治線(宇治市、宇治田原町):2箇所完了、法面調査結果に基づき、危険箇所1箇所の測量設計を実施</li> <li>・宇治木屋線(宇治田原町):1箇所完了(29年度新規)</li> <li>・伏見柳谷高槻線(長岡京市)法面防災対策工事完了</li> <li>・上野南山城線(南山城村)法面防災工事に着手(29年度新規)</li> <li>・月ヶ瀬今山線(南山城村)法面防災工事に着手(29年度新規)</li> </ul> <p>○異常気象時の通行規制解除に向けた法面防災対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒井手線(京田辺市):規制解除に向け防災対策完了後の検証を実施</li> </ul>
	<p>橋梁の耐震補強</p> <p>○橋長50m以上かつ社会的影響を考慮して順次対策を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>③・全9橋のうち、4橋は既に完了</li> <li>・城陽橋(城陽市):耐震対策実施[29年度完成]</li> </ul>

運営目標

- ④ 木造住宅の耐震化を促進
- ・市町村と連携して府民の耐震意識の向上を図り、木造住宅耐震診断・耐震改修事業により木造住宅の耐震化促進  
 <耐震改修事業:目標 全戸数600戸(内訳:耐震診断戸数300戸、耐震改修戸数200戸、簡易耐震改修100戸)>
  - ・一般府民を対象に、住宅耐震化意識向上を図る:ショッピングセンター等での耐震フェア 12回開催>
  - ・耐震診断結果返却及び耐震改修中間検査への府職員立会の実施による市町村支援の推進
  - ・業者向けに耐震診断・耐震改修事業啓発リーフレットを宅建業及び建設業の新規・更新業者へ配布

4 農地・農業用施設の防災対策や災害に強い山づくりの推進

- 達成手段  
(数値目標)
- ① 府営農地防災事業の早期完了に向けた整備や農業用施設の更新整備の促進
- ・巨椋池3期地区:承水溝3号水路の整備 <91%(28年度実績 81%)>
  - ・吹前揚水機場電気設備の配電盤の更新整備 <1式(29年度新規)>
  - ・木津揚水機場の更新整備計画の作成 <1式(29年度新規)>
- ② 農業用ため池の安心・安全を図る取組
- ・避難路を示す「ため池安心・安全マップ」の作成を支援 <2箇所(28年度実績 1箇所)>
  - ・一斉点検(H27)のランクI判定のため池点検を実施 <22箇所(28年度実績 22箇所)>
- ③ 地域住民が主体となって行う「災害に強い山づくり」を支援及び他地域への取り組み拡大
- ・H27以降取り組んだ4地区での森林整備活動の支援
  - ・炭山モデルの取組事例を他地区へ普及啓発 <2市町村(28年度実績 2市町村)>

5 行政住民連携による地域防災・防犯力の向上

地域防災力向上講座

広い管内において、地域の特性に合わせた備えが重要であることから、これまでに養成した地域防災リーダーを中心に、河川洪水、内水氾濫、斜面崩壊、土石流(地すべり)、落雷(森林火災)等様々な災害毎の防災力向上講座や、消防団等の地域団体と積極的に協力して地震対策を中心とした初動対応訓練等を実施し、自主防災組織の活性化を図ります。

<管内全15市町村での実施(3年計画の1年目)、受講者数計700人>

① ○防災力向上講座

・各種災害の専門家から地域防災力の強化について、具体的な事例も交えてアドバイスを受ける。 <出水期までに開催(29年度新規)>

>

○初動対応訓練

・災害図上訓練DIG等のセミナーを開催し、地域の防災力を考える。

・自主防災会が互いに防災資機材の合同点検を実施して、良いところ、悪いところを話し合い、資機材管理の向上を図る。 <5箇所を実施(29年度新規)>

災害時に機動的に対応できる体制の充実のための訓練と研修の実施

ア) 市町村との合同訓練(水害初動対応等)の実施及び京都府総合防災訓練を実施

② ○非常時初動対応要員への訓練

・総合庁舎参集訓練、各市町村派遣訓練

○市町村との合同初動対応訓練

・職員派遣、連絡調整訓練

○市町村等関係機関との連携

・地域防災対策連絡会等において、市町村、消防、警察等との緊密な連携を図り、訓練や研修の充実や情報の共有化

イ) 研修

○非常時専任職員2号、3号及び市町村派遣職員研修

・初動対応業務、市町村における業務等

運営目標

<p>達成手段 (数値目標)</p>	<p>地域の防犯関係団体のネットワーク会議を開催又は参画し、情報共有等を進め、地域住民による防犯活動を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山城管内地域毎(4地域)に警察署とも連携し、防犯関係行政機関による安心安全行政連絡会議を開催するとともに、市町村が実施する防犯推進関係会議に参画</li> <li>宇治・城陽・久御山安心安全行政連絡会</li> <li>宇治市安全・安心まちづくり推進会議</li> <li>城陽市防犯推進協議会</li> <li>久御山町生活安全まちづくり連絡会</li> <li>乙訓地域安心・安全ネット連絡調整会議</li> <li>八幡地域安心・安全行政連絡会議</li> <li>京田辺・綴喜地域安心・安全行政連絡会議</li> <li>田辺管内子どもの安心・安全セミナー</li> <li>安心・安全相楽ネット連絡会</li> <li>・府民協働防犯ステーションが行う防犯街頭啓発や防犯パトロール等防犯活動に参加</li> <li>府民防犯旬間(7月)において実施 &lt;10箇所(28年度実績 9箇所)&gt;</li> </ul>
<p>④</p>	<p>災害に強いまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民に対する防災啓発のため、防災情報の入手方法を記したチラシ等を配布(再掲)</li> <li>・防災に関するパネル展等を実施 &lt;パネル展等13箇所(28年度実績 13箇所)&gt;(再掲)</li> <li>・水防管理団体と協調して、迅速かつ的確な初期対応や避難等に繋がるよう、大雨警報(浸水害)が発令された場合、天井川においてモニタリングを実施し、情報共有を図る。</li> </ul>
<p>⑤</p>	<p>土砂災害警戒区域等(1巡目基礎調査箇所)のうち、残る宇治市域67箇所及び乙訓地域18箇所の早期の区域指定(指定完了)を進めるとともに、2巡目基礎調査を順次実施します。</p>
<p>⑥</p>	<p>「災害からの安全な京都づくり条例」に規定の災害危険情報の公表により避難行動を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水防法改正(27年7月)に伴う「想定し得る最大規模の降雨を前提とした浸水想定区域図」の作成を進める。29年度:小畑川、小泉川で作成完了、大谷川、普賢寺川、煤谷川、赤田川、山田川、井関川、和東川</li> <li>・水防法指定河川(洪水予報河川、水位情報周知河川)以外の府管理河川の浸水想定区域図の作成。</li> <li>・浸水想定区域図の改定に合わせ関係市町村の避難計画の策定を促す。</li> </ul>

運営目標

6 安全な歩行空間の確保

達成手段 (数値目標)	①	<p>通学路の安全対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道等の整備を西京高槻線&lt;物集女&gt;(向日市)、西京高槻線&lt;寺戸事務所前&gt;(向日市)、京都宇治線&lt;五ヶ庄&gt;(宇治市)、八幡木津線&lt;茶屋前交差点&gt;(京田辺市)、国道163号&lt;今山(南山城村)&gt;など10箇所を実施し、うち上久世石見上里線&lt;南端交差点&gt;(向日市)、長法寺向日線&lt;今里&gt;(長岡京市)の2箇所を完了</li> <li>・交差点改良を国道163号:岡崎(木津川市)で着手(29年度新規)</li> <li>・各市町村の教育部局、警察と連携して通学路交通安全対策を推進</li> </ul>
	②	<p>公共施設等へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西京高槻線&lt;大山崎&gt;(大山崎町):用地取得推進</li> <li>・上久世石見上里線&lt;南端交差点&gt;(向日市)で完了(再掲)</li> <li>・宇治淀線&lt;淀&gt;(伏見区、久御山町):歩道整備工事の推進</li> <li>・天理加茂木津線:大野(木津川市)で歩道整備を含む用地取得に着手(29年度新規)</li> </ul>
	③	<p>死亡事故発生箇所の交通安全対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道307号&lt;草内大切&gt;(京田辺市)において、注意喚起対策を実施(29年度新規)</li> <li>・あんしん歩行エリアの宇治淀線&lt;宇治貳番&gt;(宇治市)、宇治淀線&lt;神明&gt;(宇治市)の2地区において歩道整備を推進</li> </ul>
	④	<p>自転車通行環境整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇治淀線(宇治市)で推進</li> <li>・京都八幡木津自転車道線(八幡市、京田辺市)でリニューアル工事推進</li> <li>・「京都やましろ茶いくるライン」の整備</li> </ul> <p>京田辺と精華を巡る国際自転車レース「ツアー・オブ・ジャパン(以下、「TOJ」という。)」のコースに、宇治・宇治田原・和束などを加え、茶畑など優れた景観と変化に富んだコースを設定し、国及び市町村と連携して主要地点への案内標識の設置や路面案内マーキング、茶いくるスポット2整備、路面補修などを推進</p>
	⑤	<p>歩道のバリアフリー化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西京高槻線&lt;物集女&gt;(向日市)、西京高槻線&lt;寺戸事務所前&gt;(向日市)、志水西向日停車場線&lt;鶏冠井町&gt;(向日市)、城陽宇治線&lt;大久保~小倉&gt;(宇治市)、宇治淀線&lt;貳番&gt;(宇治市)、木津横田線&lt;市坂&gt;(木津川市)など10箇所を実施し、うち上久世石見上里線&lt;南端交差点&gt;(向日市)、長法寺向日線&lt;今里&gt;(長岡京市)、木津横田線&lt;市坂&gt;(木津川市)の3箇所を完了</li> </ul>

運営目標

7 公共施設の適正な維持管理の推進

達成手段  
(数値目標)

- |   |  |
|---|--|
| ① | <p>公共施設の計画的点検の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路：橋梁・舗装・標識の予防補修を推進&lt;計画的点検:橋梁104橋、舗装27km&gt;</li> <li>・施設の老朽化による第三者被害ゼロを目指し、トンネル9箇所(point検)を実施 &lt;トンネル9箇所&gt;</li> <li>・河川：実延長251kmのうち、出水期前に天井川・重点河川区分等に基づく約130kmの点検を実施</li> <li>・砂防：施設の損傷のあった箇所や満砂しているえん堤等について、出水期前に定期点検を実施</li> <li>・公園：利用者の安全確保のため、引き続き日常点検と定期点検を実施</li> </ul>  |
| ② | <p>計画的修繕・更新の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路：上玉川橋(井手町)、株山橋(井手町)、上津屋小橋(城陽市)の更新工事を実施、宵待橋(宇治田原町)をはじめとして、橋梁6橋の補修及び城陽橋(城陽市)、岡崎橋(木津川市)の第三者被害予防対策を実施し、宵待橋が完了。また、舗装は点検結果に基づき3kmの補修を実施</li> <li>・河川、砂防：維持管理計画を策定し、点検結果に基づき緊急度を要する河川管理施設、砂防設備の修繕を実施</li> <li>・公園：太陽ヶ丘(山城総合運動公園)のプール等の熱源施設更新[29年度完了]及び総合体育館の吊り天井耐震化工事の推進[30年度完了]、宇治公園の再生計画に基づく施設整備の推進、けいはんな記念公園観月楼の空調設備等更新の推進</li> </ul> |

8 健康危機に強いやましろ地域づくり

達成手段 (数値目標)	◆めざす姿 広域災害や感染症などの「健康危機」に即応できる体制づくりを進めます。 薬物乱用のない健全な地域社会を構築します。
	① 災害時の医療体制等の充実 地域の防災や医療の関係機関の「顔の見える関係」を構築するため二次医療圏ごとに設置した協議会等による情報交換を行うとともに、訓練を実施。また、災害時の医療支援に必要となる備蓄状況等を把握するため現状調査の実施 <訓練8回(28年度実績 8回)、備蓄状況等調査(市町村、病院)(29年度新規)>
	② 感染症発生時の感染拡大防止や平常時からの発生予防のため対応能力を強化 ・新型インフルエンザ等発生時の対応訓練をインフルエンザ協力病院と実施 <3回 (28年度実績 3回)> ・学校・児童・障害者福祉施設、介護施設等における感染症対応向上のための研修会 <6回(29年度新規)>
	③ 福祉避難所の設置運営のあり方を理解し、災害時に速やかに対応できるよう、行政職員、施設職員等を対象に研修、運営訓練の実施 <3回(28年度実績2回)>
	④ 各地で開催される、多くの府民が集まるイベント等に参加し、京都府薬物乱用防止指導員等と連携して、大麻、覚せい剤、危険ドラッグなどの乱用薬物の正しい知識や危険性の普及・啓発を実施 <30箇所(28年度実績 27箇所)>
	⑤ 小児医療体制整備の推進 小児救急医療の「コンビニ受診」を減らすため、小児救急電話相談事業(＃8000)の周知を図るとともに、小児救急講座、乙訓管内の小児科医療機関ガイドの電子データ化、関係機関の連絡会議を実施 <＃8000の相談件数 7,000件(27年度実績 5,662件)、小児科医療機関ガイドの電子データ化(29年度新規)、小児救急講座2回(28年度実績 3回)>
	⑥ 「やましろ安心・安全宿泊情報」の提供と適正指導(29年度新規) ・やましろを訪れる観光客に「やましろ安心・安全宿泊情報」の提供を行うとともに闇民泊や迷惑民泊等への適正化指導を実施 ・やましろを訪れる観光客に安心して宿泊できる民泊情報の発信 <民泊の許可及び届出件数 新規20件>

2 地域の活性化と交流を進める交通基盤など社会基盤整備の推進

9 新名神高速道路供用等に向けた広域交通網等の整備促進

達成手段 (数値目標)	①	<p>新名神高速道路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・城陽JCT・IC－八幡京田辺JCT・IC間：29年度完成に向け、工事促進を支援[29年4月30日開通]</li> <li>・大津JCT－城陽JCT・IC間：城陽スマートIC地区協議会発足に向けた支援</li> <li>・八幡京田辺JCT・IC－高槻JCT間：用地取得推進、地元設計協議の調整・支援</li> <li>・宇治木津線：都市計画決定に向けた調整支援</li> </ul>
	②	<p>インターチェンジアクセス関連道路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八幡京田辺インター線((都)内里高野道線)(八幡市)：[29年4月30日完成]</li> <li>・(都)内里高野道線&lt;第2工区&gt;(八幡市)：用地取得の推進(全5件のうち、4件取得)[35年度供用目標]</li> <li>・宇治木屋線犬打峠(宇治田原町・和束町)：測量設計着手[35年度供用目標](29年度新規)</li> <li>・国道307号(宇治田原山手線)(宇治田原町)：測量設計完了[33年度約1km供用目標](29年度新規)(再掲)</li> <li>・国道307号&lt;市辺～奈島&gt;(城陽市)：用地取得推進[35年度供用目標](再掲)</li> <li>・国道307号&lt;郷之口&gt;(宇治田原町)：用地取得推進[35年度供用目標]</li> <li>・宇治木屋線現道拡幅工区(宇治田原町)：用地取得推進</li> </ul>

10 JR奈良線高速化・複線化第二期事業に合わせた道路・河川整備の推進

達成手段 (数値目標)	①	<p>JR奈良線高速化・複線化第二期事業に合わせた道路整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上粕城陽線玉水駅西交通広場整備(井手町)：用地取得完了：&lt;進捗率20%&gt;[31年度供用目標]</li> <li>・向島宇治線宇治街道踏切除却(宇治市)：用地取得推進：&lt;進捗率5%&gt;</li> <li>・京都宇治線(宇治市)：JR黄檗門前踏切交差点の改良工事完了(再掲)</li> </ul>
	②	<p>JR奈良線複線化に合わせた河川の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦川(宇治市)：用地取得推進(再掲)</li> <li>・新田川(宇治市)：用地測量推進</li> <li>・弥陀次郎川(宇治市)：河道計画策定、測量及び護岸詳細設計推進</li> </ul>

運営目標

11 関西文化学術研究都市のまちづくりや交流・活動を支える基盤整備の推進

達成手段 (数値目標)	①	<p>地域高規格道路の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道163号精華拡幅: 整備促進支援</li> <li>・国道163号木津東バイパス: 整備促進支援</li> <li>・宇治木津線: 東中央地区の新名神高速道路へのアクセス路線として事業化に向けた調査を実施するよう、国に要望活動を実施</li> </ul>
	②	<p>北陸新幹線の波及効果の活用・JR学研都市線整備の促進等、まちづくりや交流を支える基盤を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(都)東中央線(木津川市): 木津川渡河橋上部工完成、JR跨線橋下部工完成、上部工推進及び土工部工事推進、用地取得推進</li> <li>・(都)山手幹線&lt;宮津・菱田工区&gt;(京田辺市、精華町): [29年度供用、30年度完成](再掲)</li> <li>・関西文化学術研究都市のスマートシティの構築に向けて、ICTを活用したスマートモビリティシステム導入や連節バス運行開始を推進</li> </ul>
	③	<p>治水対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防賀川(京田辺市): 天井川区間の改修工事を推進し、早期完了を目指す[29年度完了目標]、天井川から上流区間の治水計画策定(29年度新規)</li> <li>・大井手川(木津川市): 用地取得推進、工事継続[32年度完了目標]</li> <li>・煤谷川(精華町): 合流点から近鉄までの区間護岸工事完了[31年度完了目標]</li> </ul>

12 生活道路等の整備推進

達成手段  
(数値目標)

①

渋滞や交通安全対策及び地域間連携、生活支援等のための道路整備  
 <まちづくりと一体となった道路の整備>  
 ・(都)山手幹線<宮津・菱田工区>(京田辺市、精華町):道路築造工事、橋梁工事推進[29年度供用、30年度完成目標](再掲)  
 ・(都)東中央線(木津川市):木津川渡河橋上部工完成、JR跨線橋下部工完成、上部工推進及び土工部工事推進、用地取得推進  
 ・上久世石見上里線<南端交差点>(向日市):道路築造工事<29年度完了>  
 ・長法寺向日線<今里>(長岡京市)<29年度完了>  
 <渋滞対策>  
 ・西京高槻線(物集女):用地取得推進  
 ・(都)御陵山崎線<第3工区>(長岡京市)用地取得推進[33年度完了目標]  
 ・八幡木津線(京田辺市)大住工業団地北交差点の左折レーン設置[29年度完了目標](29年度新規)  
 <地域間連携を図る道路の整備>  
 ・(都)八幡田辺線<下奈良>(八幡市):用地取得推進  
 ・宇治田原大石東線(宇治田原町):用地取得完了  
 ・天理加茂木津線<大野>(木津川市):歩道整備を含む用地取得に着手(29年度新規)  
 ・木津信楽線<加茂町井平尾～和東町下島>(木津川市):道路築造工事推進  
 <交通安全対策>  
 ・国道163号<今山>(南山城村):交差点改良工事推進  
 <生活支援道路の整備>  
 ・伏見柳谷高槻線(長岡京市)1.5車線の整備:鈴谷工区用地取得着手  
 ・和東井手線(井手町):2車線区間の株山橋完成供用  
 ・和東井手線(井手町):1.5車線区間で中型バス対応の改良計画策定(29年度新規)  
 ・上粕城陽線(井手町):上玉川橋架替工事の推進[30年度完了目標]  
 ・上粕城陽線(井手町):井手の歩道整備の推進  
 ・天理加茂木津線(木津川市):1.5車線整備の推進  
 <道の駅の整備>  
 ・国道163号<今山>(南山城村):「道の駅」29年4月8日供用開始

運営目標

13 多様な主体との連携・協働及び事業PR活動の展開

達成手段 (数値目標)	①	<p>ボランティア団体とのパートナーシップによる快適な公共空間確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定団体が全市町村で活動するよう積極的な事業制度のPR推進(活動団体ゼロの市町村の解消を目指す)</li> <li>・ボランティア団体間での交流促進を図るために、拡大交流会(3土木管内)を開催</li> </ul>
	②	<p>PR活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開通前のイベントや工事現場見学会等の開催、ホームページによる府民への積極的なPRの展開</li> <li>・市町村の広報誌を活用したPRの実施(29年度新規)</li> <li>・新名神高速道路開通後の整備効果の把握・検証・PR(29年度新規)</li> </ul>
	③	<p>多様な主体が連携した管理体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流れ橋(上津屋橋)を核とした周辺環境整備に併せ、地元団体や関係市町と連携した管理のあり方の検討・調整</li> </ul>
	④	<p>隣接府県土木事務所及び関係市町村との調整会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災や通行規制等を見据えた連携強化を図るため、隣接府県土木事務所との連絡調整会議の開催</li> <li>・事業執行上の課題解決に向けた取り組みとして、関係市町村との調整会議の開催</li> </ul>

3 「お茶の京都」づくりの推進

14 29「お茶の京都博」の成功に向けて、宇治茶の価値・魅力を発信し、宇治茶ファンを広げ、生産や消費を拡大

「お茶の京都」ターゲットイヤーとして、1年間を通して開催される「お茶の京都博」の成功に向け、住民、企業・関係団体とともに地域の良さや宇治茶の価値・魅力を発信し、持続的な取組としての定着を目指すとともに、宇治茶の生産振興や消費拡大につなげます。

【宇治茶の消費拡大】

宇治茶ファンの拡大と宇治茶の消費拡大を図るため、日本遺産の魅力発信に向けた取組や宇治茶の世界文化遺産の取組と連携してターゲットを絞った取組を実施します。

価値の再発見

◆めざす姿

・急須でお茶を淹れ、お客様をもてなす文化を継承・復活させるため、宇治茶の魅力を伝える「宇治茶ムリエ」を育成します。 <宇治茶ムリエ新規1,000人 延べ3,000人(27年度からの実績 2,175人)>

◆手段

- ① ・管内企業や支店長会など集まる機会を捉え、出張講座等を開催 <開催回数 40回(28年度実績 37回)>
- ・「宇治茶ムリエ」認定者を対象に「King of 茶ムリエ」大会を開催 <1回(28年度実績 1回)>
- ・小学生を対象とした「キッズ茶ムリエ」検定を開催 <開催回数 5回(28年度実績 5回)>
- ・King of 茶ムリエやキッズ茶ムリエを「お茶の京都博」全国茶香服大会や全国玉露の美味しい淹れ方コンテストへ誘因(29年度新規)
- ・山城産野菜を使ったお茶に合う料理コンテストの開催(29年度新規)

茶文化の情報発信による宇治茶ファンの拡大

◆めざす姿

「お茶の京都博」と連携して、水出してん茶・玉露など新しい飲み方の提案や日常に使うお茶としての利用を広めます。 <年間を通じた宇治茶イベントへの参加者数100万人(28年度実績 52万2千人)>

◆手段

- ② ・永谷宗円生家や井手町まちづくりセンター「椿坂」整備など全市町村で実施・着手
- ・市町村と協働による個性あるエリアイベント、茶畑ハウス・アートなどを全市町村で展開
- ・やましろ観光大使、「お茶の京都」応援団(職員)による盛り上げ <12市町村のエリアイベントをサポート(29年度新規)>
- ・「お茶の京都博」関連イベントとして、4月の春イベントから「Uji-CHA Fair 2017」を山城各地で開催 <80回(28年度実績 67回)>
- ・外国人を含め一層の宇治茶ファン獲得に向け、フェイスブック(宇治茶love)により、宇治茶の魅力を発信<宇治茶ファン10,000人>
- ・海の京都との連携やイオン各店舗で新しい宇治茶の飲み方(水出してん茶等)を提案する消費拡大イベントを開催 <開催回数 4回(29年度新規)>
- ・「京都やましろ茶いくるライン」を活用したサイクリングイベント(「ツアー・オブ・茶いくるライン(以下、「TOC」という。)」で宇治茶のおいしさをPR

達成手段  
(数値目標)

運営目標

【宇治茶の生産振興】

宇治茶の品質を高める「宇治茶GAP」の導入や営農者の技術向上等により生産量の拡大を図る一方、宇治茶プレミアムブランドや新商品の開発、有機栽培の提案など新たな販路開拓等により、販売単価を増加させます。

- ◆めざす姿  
 <荒茶生産額の2年連続の80億円突破(28年度実績 80億円)>  
 ③ <てん茶生産額 54億円(28年度実績 49億円)>
  
- ◆めざす姿(生産)  
 ・生産量1%アップ <2,900t(28年度実績 2,871t)>  
 ◆手段  
 ・気象変動による収量及び品質低下の回避 <技術情報発行回数5回(29年度新規)、現地技術指導20回(29年度新規)>  
 ④ ・大規模集団茶園の増収への取組強化 <技術情報発行回数5回(28年度実績 技術情報チラシ45部)、現地濃密指導5回(28年度実績 濃密指導6回)>  
 ・新たなてん茶工場の運営支援 <技術指導10回(29年度新規)>  
 ・農業法人が茶園を維持管理・活用するモデルづくり1箇所  
 ・有機茶栽培マニュアルの作成一式(29年度新規)
  
- ◆めざす姿(販売単価)  
 <2,787円/kg・現状維持>  
 ◆手段  
 ・大規模集団茶園における品質向上 <技術情報発行回数5回(28年度実績 技術情報チラシ45部)、現地濃密指導5回(28年度実績 濃密指導6回)>(再掲)  
 ⑤ ・輸出用宇治茶の生産拡大 <実証ほの設置1箇所、現地検討会2回、研修会1回(28年度実績 28ha)>  
 ・宇治茶GAPの啓発 <実践農家率85%(28年度実績 64%)>  
 ・手摘み玉露を皮切りに「プレミアム宇治茶認証制度」を立ち上げ <認証数20個(29年度新規 農林水産部)>  
 ・茶工連携による新商品開発 <宇治茶ものづくりアイデア 3アイデア(29年度新規)>(再掲)
  
- 湯屋谷地区の茶園再整備の推進  
 ⑥ ・平成29年度早期に着工し、平成30年度の工事完成を目指す。

運営目標

15 「京都やましろ茶いくるライン」等の整備

達成手段 (数値目標)	①	<p>「京都やましろ茶いくるライン」の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京田辺と精華を巡る国際自転車レースTOJのコースに、宇治・宇治田原・和束などを加え、茶畑など優れた景観と変化に富んだコースを設定し、国及び市町村と連携して主要地点への案内標識の設置や路面案内マーキング、茶いくるスポット2整備、路面補修などを推進(再掲)</li> <li>・京都八幡木津自転車道線(八幡市、京田辺市)でリニューアル工事推進(再掲)</li> </ul>
	②	<p>宇治茶かおり回廊について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車両系案内板を昨年度に続き、国道163号、生駒井手線等に設置&lt;5箇所完了(28年度実績7箇所)&gt;</li> </ul>

4 やましろ観光の推進

16 お茶の京都DMOの設立や「お茶の京都博」開催を契機とした新たな観光資源の発掘・魅力向上と新たな観光客層の開拓

年間を通し、集客(観光入込客数)を過去最高の1500万人超に(前年比10%増)  
お茶の京都博開催とお茶の京都DMO「京都山城地域振興社」設立を契機に、お茶や歴史文化をテーマに楽しめる観光を推進します。

① ◆めざす姿(大目標)  
観光消費額を28年度実績の30%増以上にする。 <260億円 (27年度実績 198億円)>

② ◆めざす姿(その2)  
・観光入込客数を25年度実績の40%増以上にする。 <1,615万人 (27年度実績 1,347万人 25年度実績 1,153万人)>

③ ◆めざす姿(その2)  
・観光客一人当たりの消費額を25年度実績の27%増以上にする。 <1,560円(27年度実績 1,472円 25年度実績 1,223円)>

達成手段  
(数値目標)

④ ◆手段(観光入客数を増やす取組)  
・「お茶の京都博」関連イベントとして、4月の春イベントから「Uji-CHA Fair 2017」を山城各地で開催 <80回(28年度実績 67回)>  
・お茶の京都DMOや「お茶の京都博」と連携し、小さな旅企画(「やましろちーたび」)を公募、実施 <応募数50企画 (28年度実績 45企画)>  
・小さな旅企画「やましろちーたび」参加者等によるSNS(「宇治茶Love」)での山城の魅力を発信 <発信件数 250件(28年度実績 179件)>  
・大学と連携した動画による地域の魅力発信 <1作品以上(29年度新規)>

⑤ ◆手段(観光客一人当たりの消費額を増やす取組)  
・TOJ観戦者やサイクリングイベント参加者向けに、ICTを活用した宅配サービスの実施 <1モデル以上(28年度実績 1モデル)>

⑥ ◆手段(両方に効果のある取組)  
・お茶の京都DMOや「お茶の京都博」と連携し、以下の複数の事業を効果的につなげるとともに、多様なメディアを通じて戦略的に発信し、集客、消費拡大につなげる。  
・「京都やましろ茶いくるライン」を活用したサイクリングイベントTOCの開催 <参加者200人(28年度実績 181人)>  
・TOJやサイクリングイベントに関連したお土産や宿泊企画の造成 <5企画(29年度新規)>  
・アクセス環境の整備等の機会を捉えた観光PRの実施 <5回(29年度新規)>  
・観光資源のブラッシュアップ(上粕茶問屋街修景・かさぎ紡ぎの館整備等)(29年度新規)  
・広域観光を促す道路の愛称募集、決定(29年度新規)  
・お茶の京都DMOや「お茶の京都博」と連携した山城観光ポータルサイトによる観光情報の提供 <アクセス数 20万回(28年度実績 18万2千回)>  
・地域の体験型観光をつなぐ「お茶の京都バス」の運行 <乗客120人:20人×3コース×2起点(28年度実績 95人)>  
・地域特性に応じた多様な宿泊施設の誘致 <5件(28年度実績 4件)>  
・お茶の京都DMOと連携した着地型観光企画の造成・販売 <10企画(29年度新規)>

運営目標

17 ご当地キャラを活用した地域の魅力の発信

達成手段  
(数値目標)

①

山城各地のご当地キャラ(25キャラ)が力を合わせ京都を盛り上げる「京都応援きゃらくたあず(京きゃら)」の活動により、山城地域の様々な魅力を全国に発信し、ファンの拡大を図ります。  
 ・「京都応援きゃらくたあず(京きゃら)」を「お茶の京都応援大使」として任命し(29年度新規)、「お茶の京都博」の様々なイベントで相互に連携した効果的なPRを実施  
 <観光・文化イベントでの活動回数 10回(28年度実績 8回)>

5 中小企業への支援と企業誘致・イノベーション・雇用対策の推進

18 地域経済を支える中小企業の実情に応じた積極的支援と産学公連携の推進

地域経済を担う中小企業のものづくりノウハウを結合させ、新商品開発の誘導や学校等への働き掛けによる従業員確保等、安定経営を実現します。

◆めざす姿(同左)

・中小企業応援隊等の企業訪問をはじめとした管内中小企業の経営安定や拡大の支援により、人口減少に伴う管内商工会・商工会議所の会員数の減少を防ぎます。 <商工会等の会員数維持(28年度実績 9,839社)>

① ◆手段

- ・中小企業応援隊等による訪問企業数 <応援隊等訪問企業数 4,200社(28年度実績 4,406社)>
- ・地域内企業、教育機関等の連携を促進するしくみの構築(29年度新規)
- ・地域内企業、教育機関等の連携・交流機会の創出 <連携・交流セミナー6回(29年度新規)>
- ・山城地域労働経済活力会議の開催 <1回(28年度実績 1回)>
- ・高校や大学等への地元企業の情報発信 <学校への企業説明会等 15回(28年度実績 11社)>
- ・地元企業による職場体験実施 <応募企業 20社(28年度実績 応募企業11社)>
- ・「企業の森」推進事業及び認定事業等による支援 <事業活用支援企業 70社(28年度実績 26社)>

京都市域から関西文化学術研究都市に至る地域と、白坂・城陽地域の企業が交流連携を図り、産業イノベーションの創出を図ります。

◆めざす姿

- ・企業連携による新商品開発、経営革新等の取組創出 <企業が連携した取組5事例(29年度新規)>
- ・イノベーションによる知事認定企業等の拡大 <認定企業 15社(28年度実績 25社)>

② ◆手段

- ・オンリーワン倶楽部の企業数を拡大 <倶楽部会員企業等 130社(28年度実績 120社)>
- ・オンリーワン倶楽部での連携・交流活動の実施 <連携・交流プロジェクト 4回(28年度実績 6回)>
- ・茶工連携による新商品開発 <宇治茶ものづくりアイデア 3アイデア(29年度新規)>
- ・地域内企業、教育機関等の連携を促進するしくみの構築(再掲)
- ・地域内企業等の連携・交流機会の創出 <連携・交流セミナー 6回(29年度新規)>(再掲)
- ・学研・白坂・城陽新イノベーションライン創出に向けた連携・交流機会の創出 <新イノベーションライン連携・交流会 2回(28年度実績 0回)>

達成手段  
(数値目標)

運営目標

地域コミュニティの核である商店街等の新たな活性化を図ります。

◆めざす姿(同左)  
商店街等の活性化

③◆手段

- ・商店街創生センターと連携し、商店街を支援 <商店街事業支援 5商店街(28年度実績 6商店街)>
- ・駅前商店街の創生 <商店街創生支援 1商店街(28年度実績 1商店街)>
- ・全国規模の商店街イベントの支援 <商店街イベント支援 3商店街(28年度実績 2商店街)>

学研・狛田東地区エリアの民間産業系開発の促進、市町村のまちづくりと一体となった産業系用地の創出、民間開発の産業系土地利用への誘導など、新たな産業集積拠点整備を進めます。  
山城地域への企業誘致を促進するとともに、立地満足度向上を図り、立地企業の定着や新たな用地の発掘、新たな事業展開及び人材確保を支援します。

◆めざす姿(同左)

- ・山城地域の特性をいかした企業誘致を進める。 <誘致企業数 20社(28年度実績 11社)>
- ・誘致企業の流出防止 <誘致企業定着率 100%(28年度実績 29年6月末集計)>

④◆手段

- ・市町村担当者を対象とした企業誘致研修会、首都圏企業を対象とした企業誘致推進連絡会議でのPR活動 <企業誘致研修会・首都圏PR活動 2回(28年度実績 2回)>
- ・立地企業の安定経営に向け課題を抱える企業への訪問を強化し、課題の解消を進める。 <立地企業訪問 50社(28年度実績 33社)>
- ・課題解決に向けた関係機関等への働きかけ <関係機関等との意見交換 2回(28年度実績 1回)>
- ・立地企業が抱える重要課題をテーマとした企業懇談会を開催 <企業懇談会 1回(28年度実績 1回)>
- ・学研・白坂・城陽新イノベーションライン創出に向けた連携・交流機会の創出 <新イノベーションライン連携・交流会 2回(28年度実績 2回)>(再掲)
- ・地元企業による職場体験実施 <応募企業 20社(28年度実績 11社)>(再掲)
- ・本庁事業を活用し、市町村と連携して新たな企業用地の掘り起こしと開発を推進

運営目標

19 東部丘陵地の整備、再開発

達成手段  
(数値目標)

- ① 城陽市東部丘陵地において、長池・青谷の先行整備地区への高次な商業機能や国際的な物流機能等の導入をめざすとともに、中間エリアにおける段階的な土地利用を進めます。  
そのため、昨年6月に官民一体の体制で設立された「城陽市東部丘陵地整備推進協議会」に参画し、情報共有や意見交換を行うとともに、企業等の誘致を促進します。
- ② 城陽市条例に基づいて昨年5月に設立された「城陽市東部丘陵地整備委員会」に参画するとともに、27年度に見直された整備計画と整合の取れた先行整備地区の埋戻し修復事業が行えるよう、また、新たな開発事業の手続きが円滑に行われ、無秩序な土地利用を防止し、将来的にわたり計画的な土地利用が図れるよう、関係機関への指導・調整を進めます。  
〔参考〕 公社の29年度受入目標 16万4千台

6 特色ある農産物づくりと担い手対策の推進

20 「お茶の京都」を「食」で支えるやましろ農業の活性化

	<p>京やましろ新鮮野菜(地域ブランド)を中心に生産者、販売者、消費者を結びつけて産地力、知名度の向上により販売額を増加させます。</p> <p>◆めざす姿 ・京やましろ新鮮野菜販売額 &lt;24億円(28年度実績 20億円)&gt;</p> <p>◆手段 ・京やましろ新鮮野菜品目拡大 &lt;新規2品目、計13品目(28年度実績 4品目)&gt; (伏見トウガラシ、トマト)</p> <p>① ・京やましろ新鮮野菜首都圏での販売高&lt;(2億円(28年度実績 1億円)&gt; ・大型外食産業への販売額倍増 &lt;3,000万円(28年度実績 1,500万円)&gt; ・加工業者(缶詰、漬物業者)への販売額 &lt;3,000万円(29年度新規)&gt; ・規模拡大や栽培技術面をサポートし、大規模農家を育成(5ha) &lt;新規5戸(28年度実績 3戸)&gt; ・京やましろ新鮮野菜登録店 &lt;新規5店(28年度実績 5店(計33店))&gt; ・生産者ファンクラブ交流会&lt;3回(29年度新規)&gt;</p>
<p>達成手段 (数値目標)</p>	<p>地産地消や「お茶の京都博」で当地に訪れる方々へ「やましろ産ごちそうさんプラットフォーム」の取組を通じて山城産農産物の魅力を発信します。</p> <p>◆めざす姿 ・農産物直売所の販売金額 &lt;14億円(28年度実績 29年6月末集計)&gt;</p> <p>② ◆手段 ・キッチンカーによる現地での料理講習会の開催 &lt;3回(28年度実績 4回)&gt; ・山城産農産物が一堂に集まる「やましろマルシェ」の開催 &lt;7回(28年度実績 3回)&gt; ・山城産農産物が食べられる「京やましろ産食材提供店」の登録 &lt;40店(28年度実績 61店)&gt; ・山城産農産物がいつでも購入できるバーチャル直売所の開設 &lt;1店舗(28年度実績 0店舗)&gt; ・山城産野菜を使ったお茶に合う料理コンテストの開催(29年度新規)</p>

## 運営目標

市町村と連携した「就農相談会」を開催して新規就農者を確保するとともに、六次産業化を推進します。

### ◆めざす姿

- ・新規就農者を確保 <30名(28年度実績 8名)>
- ・六次化産業化に取り組む経営体 <10経営体(28年度実績 8経営体)>

### ◆手段

- ・新規就農相談会の開催 <12回(29年度新規)>
- ③ 就農基礎講座・専門講座を開催 <11回(28年度実績 11回)>
- ・京のやましろ応援隊の支援  
    専門家派遣 <20回(29年度新規)>  
    商談会の参加支援 <アグリビジネス講座、商談会等参加者 5経営体(28年度実績 8経営体)>
- ・アグリビジネス実行支援 <7経営体(28年度実績 プラン作成7経営体)>
- ・農地中間管理機構を活用したモデル地区 <2箇所(野菜・茶)(29年度新規)>

運営目標

7 豊かな森と里づくり

21 モデルフォレストの推進と地域産木材の利用促進

達成手段 (数値目標)	①	<p>モデルフォレスト運動の更なる拡大と木質資源等の利活用への取組みを促進 企業、森林ボランティア、地域住民、森林所有者、行政等の連携を強化して、森林整備活動や木質資源等の利活用に取り組むモデルフォレスト運動を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学研都市をはじめとした山城地域の企業へ参加の呼びかけ及び活動支援によるモデルフォレスト運動の延べ参加者数の増 &lt;1,800名(28年度実績 1,554名)&gt;</li> <li>・森林へのふれあいを通して、森林・林業への理解を深めるため、森林体験ツアーを開催&lt;200名(29年度新規)&gt;</li> </ul>
	②	<p>地産地消型林業の推進 山城地域独自の素材・製材業を中心とした木材利活用システム(山城eco木材供給協議会)の活動の支援や新たな財源を活用した木材利用を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域産木材を公共建築物等で利用 &lt;4件(28年度実績 2件)&gt;</li> <li>・木材利用推進に係る普及啓発活動の実施 &lt;講演会等2回(29年度新規)&gt;</li> </ul>
	③	<p>山城産木材の利用促進 山城産木材利用を目的とした搬出間伐を推進するため、高性能林業機械を活用する講習会等を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高性能林業機械による搬出間伐講習会の実施&lt;講習会1回(29年度新規)&gt;</li> </ul>

22 野生鳥獣被害に強い地域づくり

達成手段 (数値目標)	①	<p>ニホンザルや鳥類による農作物被害金額の増加に歯止めをかけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニホンザルに効果のある複合型侵入防止柵の設置や集落ぐるみの取り組みを支援 &lt;サルによる農作物被害金額を15百万円以下(28年度実績 15,393千円)&gt;</li> <li>・網等による効率的な鳥類の有害鳥獣捕獲を推進 &lt;鳥類による農作物被害金額を20百万円以下(28年度実績 22,316千円)&gt;</li> <li>・侵入防止柵の設置や集落住民による追い払い体制の確立等ができた集落を対象に、聞き取り調査を実施し、新たな取組を支援し、防除力のパワーアップを図る。 &lt;実施集落数4集落(28年度実績 4集落)&gt;</li> </ul>
	②	<p>鳥獣被害から守られた農地を活用して地域特産物の生産を振興し、地域の活性化を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥獣害に強い作物など新規品目の地域特産化を目指した栽培を支援 &lt;2地域(28年度実績 2地域)&gt;</li> </ul>
	③	<p>捕獲の担い手である狩猟者の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若手農業者や女性、農業系高等学校等への免許取得啓発チラシ配布などの勧誘活動を展開して、新規狩猟免許取得者を確保 &lt;新規狩猟免許取得者数60名(28年度実績 57名)&gt;</li> <li>・わな免許の新規取得者など初心者を対象とした実践型の捕獲技術講習会を開催 &lt;講習会開催回数2回(28年度実績 2回)&gt;</li> </ul>

23 ふるさと保全・地域力・里山再生機能の構築

達成手段  
(数値目標)

①

都市農村交流と移住推進により地域の活性化を図ります。

◆めざす姿

・相楽東部未来づくりセンター等と連携して、定住者数を確保 <50名(28年度実績 15名)>

◆手段

・「移住呼びかけ人」による移住・定住交流会(セミナー・ツアー) <4回(28年度実績 4回)>

・空家バンク制度を活用した空き家改修 <4戸(28年度実績 0戸)>

・農作業体験参加者 <100人(28年度実績 10人)>

・農家民宿の開設支援 <4件(28年度実績 3件)>

・移住条例による移住促進特別区域の指定 <4地区(28年度実績 2地区)>

・空家改修のための調査を支援 <3地区(29年度新規)>

・新規就農者の確保<10名(28年度実績 8名)>(再掲)

・学研都市の企業等のサテライトオフィスや社宅等への利用を働き掛け

・学研都市をはじめとした山城地域の企業へ参加の呼びかけ及び活動支援によるモデルフォレスト運動の延べ参加者数の増 <1,800名(28年度実績 1,554名)>

8 少子・高齢化への戦略的対応と生涯健康づくり

24 少子化への戦略的対応

<p>達成手段 (数値目標)</p>	<p>◆めざす姿 総合的な少子化対策を実施して、出生率を上昇させ、少子化を食い止めます。 ＜出生数増100人以上(H28年実績 6人)＞ ◆手段</p>
	<p>① 高校生、大学生、新規採用職員等の若者が、結婚、妊娠、出産、子育ての人生の節目に適切な選択ができるように正確な情報提供を実施します。 ・高校生・大学生・新規採用職員等への健康出前講座・セミナーの開催 &lt;5回 (28年度実績 5回)＞</p>
	<p>② 妊産婦の不安や負担・孤立感を軽減するための「子育て世代包括支援センター」を設置する市町村を増やすために、市町村の実態に応じた支援を継続します。 ＜実施市町村 6市町 (28年度実績 3市町)＞ 府目標 31年度末までに全市町村</p>
<p>③ 相楽東部の活性化を目指し、山城南管内全体で高齢者団体や市町村、地域の子育て団体、民生児童委員等と協力して、広域的に子育てを支援する基盤をつくります。 ・先進的な西部の子育て支援団体等の協力を得て、相楽東部地域内の高齢者・子育て・福祉関係の団体と連携して、地域内の子育て力をアップ &lt;地域研修会2回(28年度実績 2回)＞ ・相楽西部地域と東部地域の関係団体の連携強化により子育て支援のネットワーク基盤を確立 &lt;お茶の京都ターゲットイベントとの併催による交流会 2回(28年度実績 2回)＞ ・「子育て支援ブック」を充実し、市町村、子育て団体等に配付し、子育て世代にワンストップで情報提供</p>	

運営目標

25 だれもが安心して生活できる環境づくり

◆めざす姿

(1) 地域で安心して子どもを産み育てられるよう、保育所等の定員増により児童の受け入れ体制を整えとともに、養育支援を必要とする家庭を早期に発見し、支援するシステムを構築、児童虐待の未然防止に取り組みます。

◆手段

① 待機児童の解消

・市町等による保育所等整備への支援により定員を増やす。〈200名増(28年度実績 388名増)〉

② 児童虐待の未然防止

・医療・保健・福祉等関係者の連携を強化

協力医療機関を拡大し、関係者の資質の向上を図る。〈医療機関24箇所 研修会 5回 (28年度実績 22箇所 6回)〉

・乙訓地域において、父親を含む家族全体をケースワークできる人材育成のための研修会と、父親支援のための公開講座を開催 〈研修会 4回(28年度実績 3回)、公開講座3回(29年度新規)〉

・ハイリスク妊産婦の早期発見・支援に係る研修会・事例検討会の開催及び産後うつ質問票等の活用を進めるための研修会を開催 〈活用する市町村10市町村(28年度実績 7市町村)〉

達成手段  
(数値目標)

運営目標

	<p>◆めざす姿                  (2)障害のある人もない人も共に地域で安心して暮らすことができる環境づくりを推進します。ライフステージに応じた切れ目のない支援を提供するため、医療・保健・福祉・教育等関係機関の連携を強化します。発達障害児、医療的ケアの必要な児者、障害者就労施設で就労する障害者等への支援に有効な取り組みを実施するとともに、若年層の自殺予防のため中高大学生への疾病予防教育を行います。</p> <p>◆手段</p>
<p>①</p>	<p>発達障害児の支援                  ・発達障害を含む支援を必要とする子どもについて、ライフステージに応じた切れ目のない支援に有効な支援ファイルの活用を推進する。                  &lt;保護者向けワークショップ 1回、関係機関に対する実践報告会 1回(29年度新規)&gt;                  ・家庭内に困難を抱える発達障害児の支援のため部局横断的な関係機関連携会議を開催</p>
<p>達成手段 (数値目標)</p> <p>②</p>	<p>医療的ケアの必要な障害児者の支援                  ・関係機関連携のための会議、支援者の拡大・資質の向上のための研修会等を開催&lt;計18回(28年度実績 3回)&gt;                  【乙訓保健所】                  関係者連携会議及び研修会 &lt;難病2回、小児3回&gt;                  乙訓地域ネットワーク強化、シミュレーション訓練 &lt;1回&gt;                  【山城北保健所】                  在宅療養児者の地域生活支援ネットワーク会議 &lt;1回&gt;                  定例カンファレンス及び研修会 &lt;3回&gt;                  関係者連携会議及び研修会 &lt;難病5回、小児1回&gt;                  【山城南保健所】                  関係者連携会議及び研修会 &lt;難病1回、小児1回&gt;</p>
<p>③</p>	<p>農産物を生産する障害者就労施設で働く障害者の支援                  働く障害者の活躍の場を創造するため、宇治茶苗の栽培を就労場所として活用するとともに、野菜・農産加工品の福菜市(共同直売所)や出張・販売等による農福連携を推進します。(29年度新規)                  ・宇治茶苗の栽培支援                  29年度から30年度にかけて、研修畑での実地研修を実施                  ・福菜市(共同直売所)の売上げアップ及び地域行事等への出張販売を実施                  &lt;月平均売上額 42,400円(28年度実績 41,200円)、出張販売 7回(28年度実績 8回)&gt;</p>
<p>④</p>	<p>若年層を対象にした自殺防止対策                  ・中学生・高校生・大学生を対象に、精神疾患に対する正しい理解と予防についての教育を行うとともに、相談支援機関について情報提供します。                  &lt;心の健康教育実施場所: 中学・高校・大学のうちで2ヶ所(29年度新規)、受講者 計300人(29年度新規)&gt;</p>

26 高齢者等がいきいきと安心して暮らせる地域づくり

◆めざす姿  
高齢者等が安心して地域で暮らせる社会づくりを目指します。

◆手段

① 保健医療計画(地域版)の策定  
二次医療圏ごとに設置している「保健医療協議会」を開催し、2024年度までの保健医療福祉施策について、地域の医師会、医療関係者等と意見交換し、地域における課題と対策についてとりまとめます。(29年度新規)

② 地域包括ケア体制の整備  
高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる「あんしん社会」を構築するため、市町村と連携して、医療、介護、福祉のサービスを一体的に提供する「地域包括ケア」の実現に向け、認知症対策、在宅医療の充実、多職種協働の取組を推進します。

③ 認知症対策の推進  
認知症になっても地域で住み続けることが出来る社会の実現を目指し、地域住民及び市町村等との連携により認知症施策を推進するとともに、啓発等の取り組みを実施、地域での意識の醸成を図ります。  
・認知症初期集中支援チームの設置 <全市町村(29年度新規)>  
・山城南保健所管内東部3町村合同の認知症初期集中支援チームモデル事業の実施(29年度新規)  
・認知症に関する普及啓発物品を作成し、オレンジロードつなげ隊との協働による認知症啓発活動の実施 <20回 28年度実績 29回>  
・認知症高齢者を広域的に見守るため、市町村が設置した警察、交通機関、民間企業等で組織されたSOSネットワークを拡充支援するとともに、市町村が実施する広域徘徊模擬訓練等を支援 <訓練 5回(29年度新規)>  
・宇治市における、認知症医療と認知症ケアに取り組む京都認知症総合センター(仮称)の整備を支援(29年度新規)

④ 在宅医療の充実、多職種協働の取組を推進  
医療・保健・福祉・介護における多職種協働の取組を推進することにより、在宅医療の充実を図るとともに、特に「看取り」については、「わたしの想い(事前指示書)」等の活用により医療介護ケアの提供と住民へ啓発を行い、最期まで尊厳の保たれた生き方が出来る山城地域を目指します。  
・地域の医療介護連携包括会議 <22回(28年度実績 16回)>  
・地域での看取りに関する啓発等の推進 <看取りカフェ等 20回(28年度実績 6回)>  
・医療・介護従事者向けの事例検討会等の開催 <12回(28年度実績 13回)>

⑤ 民間で実施される高齢者福祉の取組支援  
・地域力再生プロジェクト支援事業交付金を活用した高齢者に対する共助型福祉の取組を推進するため、各種説明会等で取組事例を紹介し、積極的に支援を呼びかけ。  
<申請件数延べ18件(28年度実績 延べ15件)>

達成手段  
(数値目標)

27 生涯を通じた健康づくりの推進

達成手段 (数値目標)	<p>◆めざす姿 小児期、青年期からの「身体」と「こころ」の健康づくりを進めます。</p> <p>① ◆手段 ・学童期の健康問題(う歯、肥満、食生活等)にかかる学校保健担当者との連携会議を実施 &lt;3回(29年度新規)&gt; ・中学生・高校生・大学生への健康出前講座(防煙・性感染症・がん・食育等)を実施 &lt;10回(28年度実績 19回)&gt;</p>
	<p>◆めざす姿 働き盛り層(壮年期)のがん死亡者数の減少や高齢者層の生活習慣病予防対策や介護予防対策を推進し、健康寿命の延伸を図ります。 &lt;65歳未満のがん死亡者数減少 27年実績241人を減少させる(26年実績 308人)&gt;</p> <p>② ◆手段 ・がん検診受診率向上のための啓発事業を実施 &lt;健康出前講座等 10回(28年度実績 11回)&gt; ・働き盛り層や高齢者層に対し、歯周病予防や糖尿病等の生活習慣病予防、認知症予防のための健康教育を実施 &lt;3回(28年度実績 3回)&gt; ・糖尿病重症化予防対策事業を実施する市町村を増やすために、各保健所単位で研修会を実施 &lt;3回(29年度新規)&gt;</p>

運営目標

9 文化・スポーツや環境の承継・創造

28 地域文化の振興と文化を担う人づくり、東京オリンピック・パラリンピックに向けた「やましろ文化交流圏」づくりと、スポーツ交流による地域振興

達成手段 (数値目標)	①	2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせた「京都文化カプロジェクト2016-2020」の機運を盛り上げるため、市町村や文化団体等が取り組む文化活動を幅広く支援するとともに、やましろのタカラフェスティバル実行委員会を通じて市町村や文化団体に積極的に働きかけ、管内の文化イベントを紹介する「やましろ文化祭」を通じて、文化事業への参加人数の拡大を図り、より一層「やましろ文化交流圏」づくりを進めます。 <文化活動の支援 40団体(28年度実績 40団体)> <山城各地で実施される各種文化事業への参加人数 23.0万人(28年度実績 22.9万人)>
	②	「やましろのタカラフェスティバル」で培ってきた地域の文化力をさらに発展させ、「京都文化カプロジェクト2016-2020」の機運を盛り上げるため、文化(合唱)、科学、地域交流の各フェスティバルを山城各地で開催し、多くの地域で取り組みを身近に感じてもらえるよう参加者の促進を図ります。(文化フェスティバル:長岡京市、科学・地域交流フェスティバル:南山城村) <「やましろのタカラフェスティバル」等参加者 3,550人(28年度実績 3,550人)>
	③	平成29年5月にけいはんな地域でTOJを開催し、市町村等と連携してにぎわいを創出する出店やおもてなしイベントを実施し、全国から6万人の観客を受け入れ、国内外への「お茶の京都」のPRや「けいはんな」を世界に発信します。また、国を代表するアスリートを間近に見られる場を作ることや自転車にふれる環境づくりを推進して、府民がスポーツに親しむ機会を増やし、スポーツ振興を図ります。 <⑲観客数:60,000人、⑳実績50,000人>

29 大規模排出事業者への温室効果ガス排出削減指導

達成手段 (数値目標)	①	大規模排出事業者からの温室効果ガスの排出を抑制します。 <大規模排出事業者の温室効果ガス排出削減率 年平均2%> ・大規模排出事業者への温室効果ガス排出削減指導 <前年度よりも排出量が増加していた事業所への立入 3事業所以上(28年度実績 3事業所)>
----------------	---	---

運営目標

30 住民協働の推進

達成手段 (数値目標)	①	ボランティア団体とのパートナーシップによる良好な公共施設の管理(再掲) ・認定団体が全市町村で活動するよう積極的な事業制度のPR推進(活動団体ゼロの市町村の解消を目指す)(再掲) ・ボランティア団体間での交流促進を図るために、拡大交流会(3土木管内)を開催(再掲)
	②	木津川運動公園(山砂利採取跡地)の自然再生を図る府民協働による森づくりの推進 ・木津川運動公園の利活用促進のため、プラットフォーム会議への参画・支援(29年度新規)
	③	府民参画による整備事業推進 ・府民公募型公共事業、地域主導型公共事業の迅速な審査及び実施 ・上狛城陽線<長池地区>(城陽市)地域主導型公共事業の完成

31 水辺環境の整備、多様なニーズに対する空間の創出

達成手段 (数値目標)	①	多自然川づくりや親水空間の整備 ・井関川(木津川市):親水空間の整備推進
	②	多様なレクリエーションや軽スポーツが楽しめる木津川運動公園の整備推進 ・南エントランス及び南区域未供用区域の園路・施設等の整備促進 ・木津川運動公園<愛称:城陽五里五里の丘>(城陽市)森づくりの推進<植樹目標 累計10,000本>(28年度実績 9,165本)> [H32年度累計 13,000本目標]
	③	淀川三川合流域:さくらであい館の活用支援(29年度新規) ・京都府域淀川河川公園利用者数が35万人以上となるよう周辺市町と連携し支援 ・さくらであい館と京都やましろ茶いくるラインの連携強化:イベントにおけるPR、パンフレットの配架等(29年度新規)
	④	太陽ヶ丘<山城総合運動公園>(宇治市)の整備・充実 ・総合体育館の吊り天井耐震化工事の推進[30年度完了](再掲) ・プール等熱源施設更新工事の推進[29年度完了](再掲) ・京都アイスアリーナ(仮称)造成工事に係る設計完了、工事着手(29年度新規)
	⑤	宇治公園(宇治市)の整備・拡充 ・再生計画に基づく施設整備の推進(再掲)

10 郷土を愛し、世界にはばたく子どもの育成

32 社会総がかりで子どもを育てる環境づくり、ふるさと意識の醸成と世界にはばたく子どもの育成

達成手段 (数値目標)	①	家庭教育に関する学習活動の支援、ネットワークづくりを図ります。 ・「親育ネットおとくに」協議会を開催し、「乙訓親まなびフォーラム」等を充実することにより、社会総がかりの子育てを推進する。 ・「やましろ未来っ子はぐくみネットワーク推進協議会」のもと、「子育てサポータースキルアップ講座」等子育て支援事業の充実を図る。 また、やましろのタカラフェスティバル(科学・地域交流フェスティバル)においてやましろ未来っ子はぐくみコーナーを設置し、家庭教育支援に関する普及啓発を行う。 ＜子育て・親育ち講座等の参加人数 750人(28年度実績 760人)＞
	②	若手教員の地域理解をさらに進めるため「地域学習テキスト(発見!!山城のあゆみ)」使用し、研修等で理解を深めます。
	③	最先端の科学技術や本物のものづくりなどに触れたり、体験したりする機会を子どもたちに提供し、科学好き・ものづくり好きの子どもを育成します。  ＜京のエジソンプログラム参加人数 1,000人(実施回数 20回)(28年度実績 参加人数 1,000人(実施回数 20回))＞ ＜やましろ未来っ子サイエンスラリー事業参加人数 2,000人(28年度実績 2,000人)＞  やましろサイエンスフェスティバルの開催 ＜参加者数 1,600人(28年度実績 1,600人)＞ 開催内容について、会場や出展団体と協働して工夫する。
	④	家庭における読書活動を推進するため、やましろファミリー読書月間での「家族で読書！20分」、「本の帯コンテスト」、「本のポップカードコンテスト」を実施し、「やましろ未来っ子読書大好き！フェスタ」において、表彰、展示を行います。
	⑤	小中学生等による朗読・暗唱発表会を開催し、児童生徒の読書に対する興味・関心を高めるとともに、古典に親しみ、日本語の美しさを感じることで「ことばの力」を向上させます。
	⑥	地域の各種団体や企業等と協力・連携し、子どもたちが運動・スポーツに接し、親しむことのできる機会を設けることにより、児童生徒の体力の向上と競技スポーツの振興を図ります。 ・「乙訓ふるさとふれあい駅伝」を支援 ・「やましろ未来っ子小学校EKIDEN」の開催 ・「山城地方小・中学校若手教員教師力向上研修講座(小学校体育科)」の開催
	⑦	特別支援学校の開校(平成32年度を目標に井手町に開校)に向けた取組を地域と連携しながら着実に推進します。

11 乙訓地域の振興

33 「竹の里・乙訓」かぐや姫観光と「お茶の京都」を結び、乙訓の賑わい創出・発信

かぐや姫観光

- ・DMO設立を目指し、平成28年度に立ち上げた「京都・乙訓地域観光振興のためのプラットフォーム」により、ワークショップの実施や観光消費額アップのための乙訓土産プロジェクトを推進するとともに、「京都山城地域振興社」とも連携し、かぐや姫観光を企画、推進する。
- 商工業者など地元住民等の参加で、乙訓地域の観光資源や魅力を効果的に発進するための方法の研究、竹製のお守り・ストラップの社寺での販売支援等を実施
- ① 研修会を開催し、かぐや姫観光の受け皿となる広域観光ガイドの養成に取り組む。(29年度新規)
- ・京都観光大使を活用した観光プロモーションの実施(29年度新規)
- ・乙訓・お茶の京都を結ぶ周遊バスの運行や、位置情報・ARの活用などにより、周遊観光を推進(29年度新規)
- ・竹の径、たけのこ料理、ロケ地、文化・歴史資産、工場見学など多彩なバスの運行により、観光入込客数のアップにつなげる。 <15回(28年度実績 13回)>
- ・首都圏等でのプロモーション
- ・淀川三川合流地域の拠点施設である「さくらであい館」を活用し、関係機関と連携した情報発信、賑わいづくり
- ・京都市西部、南丹地域や鉄道事業者等との連携による「京都・西の観光」を活用したPR展、ツアー等の実施 <3回(28年度実績 3回)>

乙訓にぎわい発信事業の実施

- ② 「竹の里・乙訓」と「もうひとつの京都」を結ぶ大物産展を開催 <入場者10万人(28年度実績 入場者8万人)>
- ・激辛商店街ともタイアップし、イベント化により賑わい創出を図る。向日町競輪場で開催(9/23)
- ・乙訓商工・観光協議会のポータルサイト運営を支援
- 管内2市1町、商工会、観光協会等のホームページも活用しながら、乙訓地域全体の情報を一元的に国内外に発信
- ・乙訓管内イベントなどへの府北中南部物産販売誘致(ガラシャ祭等) <5回(28年度実績 5回)>
- ・乙訓地域における情報発信、京都縦貫自動車道開通の効果を生かし、「もうひとつの京都」と連携した特産物のPR
- ・市町や団体による竹に親しむ各種イベント支援 <3回(28年度実績 3回)>
- これまで取り組まれてきた事業の充実と竹に対する親しみを深め、竹を身近に感じてもらう契機とする。
- ・大学生・留学生に地元イベント等に参加いただき、SNSでの発信等により乙訓観光プロモーションを推進

達成手段  
(数値目標)

運営目標

③	<p>乙訓「若竹」産業創造プロジェクトの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光消費額アップのための乙訓土産品プロジェクトを推進する。(再掲)</li> <li>竹製のお守り・ストラップの社寺での販売支援等を実施</li> <li>・「京たけのこ」ブランド推進プロジェクトにより、首都圏販売戦略の推進、京の農業応援隊によるたけのこ農家への伴走支援等を実施</li> </ul> <p>＜伴走支援回数 10回(29年度新規)＞</p> <p>乙訓地域共通の資源である「竹」をテーマに地域活性化を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天王山を桜の名勝地として復活させるための「天王山桜紅葉の名勝復活プロジェクト」の推進</li> <li>行政、企業、NPO等と協働して、ヤマザクラ・イロハモミジ植林、放置竹林対策等を実施</li> <li>・竹資源・竹チップ等活用研究＜4事例(28年度実績 4事例)＞</li> </ul>
④	<p>「乙訓農商工連携推進協議会」等で多様な地産地消対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第二外環高架下等で、地元産野菜の販売をする「ふるさと軽トラ市」等の開催 ＜2回(28年度実績 2回)＞</li> <li>・生産者主体による「おとくに軽トラ朝市」の開催 ＜1回(28年度実績 1回)＞</li> </ul> <p>乙訓管内各地で開催されている朝市のPRと浸透を図るため、乙訓産野菜直売、飲食店のできたてグルメやスイーツの販売(うまい物市)の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食店等と農家のマッチング ＜3例(28年度実績 3例)＞</li> <li>乙訓産農産物の工場、福祉施設、飲食店等での利用を推進</li> <li>・直売所における朝市等のパンフレット配布等による広報</li> </ul>
⑤	<p>地元野菜等を活用した観光土産品、特産品の製品化・販路開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乙訓特産花菜やタケノコを使ったスイーツ等のイベントでの販売の実施(29年度新規)</li> <li>市町で開発している土産物や花菜うどんの販売支援</li> </ul>

34 乙訓地域における施策の総合調整等

達成手段 (数値目標)	① 府幹部と乙訓管内首長等との意見交換会議を開催 ＜3回(28年度実績 3回)＞ 府、市町との連携確認、意見交換
②	乙訓管内の施策推進を図るため、副市長・副町長等をメンバーとした「乙訓調整会議」の実施 ・乙訓調整会議の開催 ＜3回(28年度実績 3回)＞ 地方創生等広域的に関連する事項や市町を取り巻く課題への対応協議
③	山城絆ネットに基づく事業所や団体との協定拡大 ＜7事業体等(28年度実績 7事業体)＞ 企業活動を営む事業者が配達時に高齢者等の異変を発見した場合、当該市町に通報するという見守り活動を推進し、地域の安心安全な暮らしを確保

12 木津川右岸地域(相楽東部地域等)の活性化

35 相楽東部3町村圏域の生活環境の向上と都市環境と融合した新たなライフスタイルを実現できる地域づくり

「相楽東部未来づくりセンター」のテイクオフ  
府と町村職員が共同で知恵やネットワークを結集し、産業振興、人口交流・移住定住など役場機能の共同化を推進します。  
関係課室と一丸となったチームを編成し、「相楽東部未来づくりセンター」と共同の支援体制を構築します。

(1) 魅力ある「働く場」の創出、産業振興を推進

- ・企業のサテライトオフィスやテレワークオフィスの開設、スタディツアー(体験ツアー)を推進  
 <スタディツアー参加者 150人、サテライトオフィスの誘致数 3企業(29年度新規)>
- ・新規就農者支援 <30人(29年度新規)>(再掲)
- ・次世代型リゾートやオーベルジュ、グランピング等宿泊施設の誘致・創出を推進 <宿泊施設誘致 3施設(28年度実績 3施設)>

(2) 魅力ある「住まう場」の創出

- ・移住促進特別地域の拡大 <4地域(28年度実績 2地域)>
- ・空き家の状況に応じた空き家活用調査や空き家バンク制度を活用した空き家改修を推進  
 <空き家の掘り起こしによる新規移住者の創出 50名(29年度新規)>
- ・域内・域外立地企業従業員や移住者などの住戸確保 <20戸(29年度新規)>

①

・相楽西部から東部への人の流れを作り出し、地域の子育て・高齢者・福祉関係団体が連携した広域的な子育て支援及び道の駅「お茶の京都  
 みなみやましろ村」と連携した広域的な買い物弱者等への支援を実施(29年度新規)

(3) 交流人口の確保・拡大

- ・観光客・観光消費額の増加<50%増(29年度新規)>
- ・道の駅「お茶の京都みなみやましろ村」の観光商品、特産品の開発・販売、販路開拓及び和束茶カフェ、「笠置まちづくり会社」等との連携を  
 進めて観光客を呼び込む。
- ・広域観光モデルコースの設定、アクティビティの創出、日本遺産を活用した観光イベントの展開による交流拡大を図る。
- ・ふるさとワーキングホリデーによる若者の田舎暮らし体験や都市部からの修学旅行生や外国人観光客等の教育・体験観光を促進

達成手段  
(数値目標)

## 運営目標

### 社会基盤整備等の推進

#### ○地域高規格道路の整備促進

・国道163号精華拡幅:整備促進支援

・国道163号木津東バイパス:整備促進支援

・宇治木津線:東中央地区の新名神高速道路へのアクセス路線として事業化に向けた調査を実施するよう、国に要望活動を実施

#### ○まちづくりや交流を支える基盤整備

・(都)東中央線(木津川市):木津川渡河橋上部工完成、JR跨線橋下部工完成、上部工推進及び土工部工事推進、用地取得推進

#### ○新名神高速道路供用に合わせた交通網の整備(再掲)

② 宇治木屋線犬打峠(宇治田原町・和束町):測量設計着手[35年度供用目標](29年度新規)(再掲)

・国道307号(宇治田原山手線)(宇治田原町):測量設計完了[33年度1km供用目標](29年度新規)(再掲)

・国道307号<市辺～奈島>(城陽市):用地取得推進[35年度供用目標](再掲)

・国道307号<郷之口>(宇治田原町):用地取得推進[35年度供用目標](再掲)

・宇治木屋線現道拡幅工区(宇治田原町):用地取得推進(再掲)

#### ○JR奈良線高速化・複線化第二期事業の整備促進(再掲)

・関連する上狛城陽線玉水駅西交通広場整備の用地取得完了(再掲)